

WR通信

ウィッグリング通信

WR[ウィッグリング]とは

ウィッグリング・ジャパンの活動は、がん治療を終えた患者さんから、使用していたウィッグをご提供いただき、今まさにがんと闘う女性たちへと再提供するサイクルとなっています。がん治療を乗り越えたサバイバーの皆さんから、闘病する女性へウィッグを提供することで、がんと闘う勇気を繋ぎ、笑顔を届けます。そして女性としての自信や喜びを取りもどしていただきたいと願っています。



第9回ウィッグリング・ジャパン冬の応援☆交流感謝祭を開催しました!



2017年11月30日(木)福岡市中央区天神のクアンティックにおいて、第9回ウィッグリング・ジャパン冬の応援☆交流感謝祭を開催しました。交流感謝祭では、おいしいお料理とドリンクを楽しんで頂きながら、事務局より2017年10月から福岡市内を走りだした「ラッピングバス」の活動報告や、運営スタッフ、理事の紹介をさせて頂きました。また、福岡県出身のギタリスト宮崎たかしさん

によるギターの生演奏を楽しんでいただきました。いつも色々な形で私たちの活動を応援してくださっている方々に感謝を伝えるとともに、これからも多くの方にウィッグリングの活動を広めて頂けるようにご協力をお願いしました。次回は2018年3月に行う予定です。どなたでも参加OKですので、皆さまお問い合わせの上、お気軽にご参加くださいね!

ピアサポーター養成講座、全3回終了しました!



ウィッグリング・ジャパンのピアサポーター養成講座(全3回)が終了しました。1回目は10月23日(月)午前中にサロン運営の流れを説明し、その後、参加者同士で患者役とスタッフ役に分かれて、実際のサロンを想定しながらのロールプレイングを行いました。午後からは、代表理事上田あい子より活動内容や立ち上げた経緯を話し、想いを共有しました。2回目は11月11日(土)、午前中はスタッフと一緒に実際のサロン運営のサポートとウィッグ整理、午後からはウィッグリング・ジャパン理事城戸美智子が講師として「ピアサポートの心得、接遇コミュニケーション」についての研修を行いました。

「普段何気なく使っている言葉遣い、態度など些細なことにまで細心の注意が必要であることを学び、自分自身を見直す機会になりました」、「コミュニケーションの重要性や取り方など安心していただける対応力を身につけます」、「日常生活でも実践していきたいです」などの力強いご感想をいただきました。

また、3回目の11月30日(木)では、「カフェで学ぼうがんのこと」の医療セミナーの事前準備から受付、運営の実習をしていただき、セミナー運営の流れ、場の雰囲気作り方などを学んでいただきました。

今回のピアサポーター養成講座には「ウィッグが想いをつなぐ。～あなたが誰かを、誰かがあなたを、今日を支えるチカラになる。～」というウィッグリング・ジャパンの想いに共感する4名の方にご参加いただきました。「私にできることが何かあれば!」という熱い気持ちをお持ちの方で、とても頼もしい限りです。

ピアサポーター講座の受講後は、必ずサロンやセミナーに参加しないといけないなどの決まりはございません。ご都合の良い時間で、私たちと一緒に活動していただける仲間を随時募集しております。

無料の養成講座(全3回)で、ボランティア活動に対する心構えや基礎知識などを学び、実際のサロン運営方法、セミナー運営の研修を行ないますので、ボランティア初心者の方でも安心してすぐに活動できます。

ウィッグリング・ジャパンの活動を必要としているひとりでも多くの方へ、一緒に想いを届けましょう。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

ピアサポーターに関するご質問・お問合せ

講座の詳しいスケジュールは、NPO法人ウィッグリング・ジャパンまでお問い合わせください。
TEL:092-725-6623
メール:japan@wig-ring.info

がんプラスのウェブサイトウィッグリング・ジャパンのリンクを貼っていただきました!

URL: <https://cancer.qlife.jp/>

「がんプラス」は、医療情報サイトを運営する株式会社QLifeが、がんに関する最新情報、がん治療法(手術、抗がん剤、放射線治療、免疫療法)、最新の研究成果など、専門医師が監修する正しい情報を発信するために開設されたがんに関連した医療系情報サイトです。株式会社QLifeの有瀬和徳社長は「専門性が高い医療情報は専門家である医療従事者から説明を受けることが大切ですが、病気を予防する、病気を早期に発見し治療するためには、医

療リテラシー(理解)が必要であるとも考えます。健康であることを持続させ、仮に何らかの病にかかったとしても「Quality of Life(クオリティ・オブ・ライフ)」生活の質の向上に寄与することが、当社の使命であると考えます。医療と生活者の溝を少しでも埋め、双方の意思決定をサポートしていくための価値ある情報やサービスの提供に真摯に取り組んでいます。」と言われます。そのような想いを持った会社が運営されるウェブサイトには、このたびウィッグリ



NPO・ボランティアの交流イベント

「グッド アクティビティ フェスティバル」でパネル紹介されました!

2017年12月2・3日、福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみんで行われた、NPO・ボランティアの交流イベント「グッド アクティビティ フェスティバル」の「未来を担うリーダーが語る、うちの団体のイノベーション!」のパネルでウィッグリングも紹介されました!!



ウィッグレンタルご利用者さま・ご提供者さまのお声

ウィッグ 有難うございました。とても助かりました。

対応頂いたスタッフの方も癌経験者という事でしたが、とても元気で明るくて、こちらまで元気を頂きました。ありがとうございます。

一年間 ありがとうございました。すごく強くて頑張られました。感謝でいっぱいです。

ご利用者さまのお声

ご提供者さまのお声

髪が伸びて、想像以上にシヨックでした。でも、ウィッグのおかげで、社会とつながれました。なので、使用感にはありますが、次の方に少しでもお役に立ちたくて送らせて頂きます。髪は生えます!いつもと違う髪型を染む位、気が楽です。使ってください。一年生に Survive しましょ!!
too cool for school
LONDON NEW YORK

ウィッグリング・ジャパン 御中
突然のお手紙で失礼いたします。私は昨年の夏に子宮がんがわかり、手術後、交感神経を、昨年の12月末に治療を終えました。今年の2月から髪を伸ばし始め、今はやっと違和感のないヘアスタイルになりました。なかなか似合うカラーが見つからず、何個も買っていました。カラーは安いものも高いものもあります。安いから悪いというわけでもなく、自分に似合うのが一番いいカラーです。がん患者さんには、色々なカラーを試していただいて「一番似合う」を見つけたい。少しでも前向きな気持ちになていただけたらいいです。

ヘアの不用になったカラーが少しでもお役に立てたらとても嬉しいです。

P.S. カラーはすべてリンス済みです。未使用のネットも入っています。

ウィッグリング イベントスケジュール

「自分らしく生きるために ～二度のがんを経験して気づいたこと～」



●原 千晶さん講演会

31歳で子宮頸がんを36歳で子宮体がんを経験されたタレントの原千晶さんをお迎えして、病気を乗り越え、自分らしい生き方「スタイル」を確立してきた体験談をお話していただきます。

- 日時** 2018年1月20日(土) 14:30～
- 場所** 博多阪急 7F イベントホール『ミュージ』
福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1
- 参加費** 1,500円(ドリンク・お菓子付き)
- お申込み** <http://8p-cheers.com/hara>



○主催:久留米大学先端癌治療研究センター・NPO法人ウィッグリング・ジャパン ○協賛:新日本製薬 株式会社 ○後援:西南学院大学女子同窓会 ゆりの会
～公益財団法人大阪コミュニティ財団 木原隆がん基金支援事業～

●第3回WR応援!チャリティーイベント
新春ボーリング大会!

多くの方に、レクレーションを通して活動を知って頂きたい!という思いから始まったチャリティーイベント。第3回はみんなでウィッグをかぶってボーリングを行います。2～4名のチーム戦で行いますので、ボーリングが苦手な方も大丈夫です!

- 日時** 2018年1月17日(水) 19:00～(18:30受付開始)
- 対象** どなたでもご参加できます。
- 参加費** 2,500円(予定)
※別途シューズのレンタルが別途必要です
- 場所** ラウンドワン 福岡天神店
福岡市中央区天神2丁目6-12

第2回WR応援チャリティーイベント卓球大会を開催!

11月17日(木)、中洲川端の卓球BARで、第2回WRチャリティー卓球大会を行いました!卓球経験者はスリッパやかまぼこ板などでプレイするなどとても和やかに盛り上がりました。



『カフェで学ぼうがんのこと』レポート

第64回 ○10月25日(水)
「がんワクチン・免疫療法:主役は患者さん!」



【講師】久留米大学先端癌治療研究センター 所長・教授 山田亮先生

今までがんの治療法としては「外科療法(手術)」「化学療法(抗がん剤治療)」「放射線療法」の3大療法があげられていました。最近になり、これら3つの方法に加え第4の治療法として「免疫療法(がんワクチン療法)」が認められ、4大治療法と言われるようになりました。ワクチン療法は延命効果や重篤な副作用がほとんどないなどの特徴があります。久留米大学のがんワクチン療法で使用されるがんペプチドワクチンは、がん細胞に特有のペプチドを患者さんに注射し、患者さん自身の持っている免疫の力を高めてがんの増大を抑えることを目指して開発されています。ひとりひとりに合わせた最適なものを提供するほうがより効率的な治療に結びつけるテーラーメイド型治療という特徴があります。詳しくは、久留米大学先端癌治療研究センターのホームページをご覧ください。

免疫チェックポイント阻害剤(オプジーボ)に関しては悪性黒色腫が2014年7月、国内で最初に医薬品として承認されてから非小細胞肺癌、腎細胞がん、ホジキンリンパ腫、頭頸部がん、胃がん、尿路上皮がんなどが次々と承認されています。今後の医学の可能性を感じることができました。

第65回 ○11月30日(木)
「肺がんの現状 ～オプジーボは肺がんに効果的?～」



【講師】久留米大学医学部 内科学講座呼吸器・神経・膠原病部門講師 東 公一先生

肺がんによる国内の年間死亡者数は約77,000人でがんともなう死亡原因の第1位となっています。罹患率が高く、胃がんのように切ると治るといえるものではないため、再発を繰り返す場合が多く、肺の構造上血液やリンパに入り、全身に広がるため死亡率も高いのです。夢のがん治療薬といわれている「オプジーボ」については、全員に効果が見られるわけではなく、今のところ2割ほどの効果です。しかし、効果のある方は先生が驚かれるほどの治療効果が出ていて、まだまだ未知の部分がありますが、今後への可能性を感じられる治療薬だと思います。

投薬してすぐに効果がある人、ゆっくり効果が出る人といった個人差はもともとの人が持つ免疫機能によるようです。「オプジーボ」「キイトルーダ」について「アテゾリズマブ」という薬が承認されつつありますが、免疫療法の課題としては、治療費用がまだまだ高額だということです。今後よい薬がでてきても、結局は日頃から自分の免疫力を高めたり、健康な生活習慣を心掛けることが何より大切な事だと改めて思いましたが、未来の薬の進化、今後の治療法の広がる可能性には注目していきたいです。

『カフェで学ぼうがんのこと』開催スケジュール



「がん」と言うと、テレビドラマや映画などで悲劇のシーンとして扱われることが多く、そのため大変な病気という印象を持たれる方が多くおられます。

その為がんは我々にとって死に直結しやすく怖いという印象があるかもしれませんが、がんは早期に見することで完治することも珍しくありません。「がんは死ぬ病気」「抗がん剤で長い苦しみが続く」など、ほんの一部分のみをとらえた間違ったイメージが先行してしまい、誤解している方が多いのも事実です。

「カフェで学ぼうがんのこと」とはよく耳にする「がん」という病気は、そもそもどういった病気なのか?最新の治療方法などを医療現場で治療に携わっている専門の先生をお招きし、カフェのような落ち着いた雰囲気の中で日頃なかなか聞けないことを直接質問できるスモールセミナー形式です。

- 第66回 2018年2月
○テーマ:胃がん
- 第67回 2018年3月28日(水)
○テーマ:子宮頸がん
久留米大学医学部産科婦人科学教室 講師 津田 尚武先生

スケジュールはウィッグリングHPを見てね!
ウィッグリング <http://www.wig-ring.info>

時間 15:30～17:00 (受付15:15～)
参加費 1,500円(ドリンク・お菓子付き/要予約)
問合せ NPO法人ウィッグリング・ジャパン
☎092-725-6623 福岡市中央区天神2-2-13-3F

○主催:久留米大学先端癌治療研究センター・NPO法人ウィッグリング・ジャパン
○協力:財団法人福岡県すこやか健康事業団
～公益財団法人大阪コミュニティ財団 木原隆がん基金支援事業～

毎月、こだわりの美味しいスイーツも楽しめます!

●レンタル会員の皆さまへお知らせ

NPO法人ウィッグリング・ジャパンへのレンタル会員費として、『入会金2,500円』『年会費(レンタル料)3,000円』を頂戴しております。期間は1年です。期間が満了しましたら、次の方がお待ちですので、ご返却をお願いいたします。なお期間を過ぎてても使用をご希望の方は更新手続きをお願いいたします。

※ご返却は下記宛にご郵送かサロンの開いている日時にご持参ください。なお、返却の際には会員番号が必要です。(ご持参いただく場合には、一度お電話にてご連絡ください。)※期間中一度だけ2,500円で交換が可能です。※延長もできます。(更新料2,500円+年会費3,000円が必要です。)※送料は別途500円です。※納付いただいた会費の払い戻しは行ないません。

●2018年1月、2月、3月のサロン営業日

- 日時: 1月13日(土)・22日(月)
2月3日(土)・19日(月)
3月10日(土)・26日(月)
 - 時間: 【午前の部】10:30～12:30(受付12:00まで)
【午後の部】14:00～16:00(受付15:30まで)
- ※日程変更の場合がございますので必ずお電話でご確認・ご予約をお願いします。



外見のケアは闘病のチカラになる

髪の毛がなくなったら、自分じゃないみたいよ。落ち込むもんだね...」
髪 外見が変わることは、特に女性にとって、とてもショックなことです。でも、「命」があつてこそだから、外見まで気にしなくてもいいのでは?という方もいらっしゃるかもしれません。もちろん、多少の価値観の相違はあれ、「命」と引き換えにできるようなものは何もありません。普段からお化粧をしたりオシャレを楽しむ女性にとって、外見は「自信」につながる要素であるといえども、闘病中の仕事や家族への生活上の影響、治療にかかる費用などを考えると、ほとんどの方は自分の外見のケア(カツラやメイク)は後回しにしてしまうようです。あえて優先順位をつけるならば、「治療」を優先するからです。これは当然のことだと思います。「抗がん剤が終わったら、また、髪の毛生えてくるよ。それまでは、このカツラにお世話になるよ。オシャレするだけで気分があがるから、助かります!!」

to be continued...



NPO法人ウィッグリング・ジャパン 理事 満安 謙美 理事

2010年のウィッグリング・ジャパンの立ち上げ当初から関わらせていただいています。主にサロンのスタッフとしてウィッグの試着・選定や病気の悩みを聞いたり、生活上の相談を受けたりしています。

また、人工乳房についてのアドバイスもしております。私は、30代で乳がんを発病し、その後、2度の肺がんを乗り越えました。経験者として、がんになった切なさも悔しさも分かります。帽子を深くかぶり、下を向いてサロンを訪れた患者さんが、「私たちの存在で元気に羽ばたいてくれたら」という想いで、外見のケアだけでなく心のケアも大切だと思って活動しています。似合うウィッグをつけて笑顔で帰っていく様子を見ると嬉しいです。身体不健康!でも、ここは元気!一度きりの人生だから大切にいきましょう!